

監督者・リーダーシップ研修

自走力のある改善集団のリーダーを育成する！
現場管理と革新のできる監督者を育成する！

あどばる経営研究所

本研修の特徴

- 1 1 自分の職場環境と自分のリーダーシップの特性に合わせて学習します！
- 2 2 フォローアップの仕組みがあります！
- 3 3 実践的な研修システムである！

職場の組織風土を簡易診断し、自分のリーダーシップスタイルを自己評価して頂き、その「強み」と「弱み」を背景にして研修を進めます。

各テーマについて学んだ知識を、その後の1ヶ月間、職場において実践、活用できる仕組みになっており、座学と実践を繰り返すことにより、真の実務知識が身に付きます。

レクチャー資料を通して、監督者にとって必要な知識・能力をわかりやすく提示します。テーマに沿ったチェックシートを記入することにより、自己あるいは自社の問題点と改善課題が明らかになります。熟練インストラクターや他のメンバーから、抽出された課題に対する具体的な解決策やセッションを得ることができます。

研修内容

4時間/回 × 5回 + オプション

研修のねらい	第1部 監督者の役割	第2部 リーダーシップ	第3部 改善環境作り	第4部 改善活動実践の仕方	第5部 評価の仕組みの構築方法	第6部 改善活動の実践指導 オプションテーマ
研修のねらい、スケジュール、心構えなどについて注意し、価値観を共有します。	「監督者とはどのような存在か」をテーマに監督者の本質的役割を認識して頂きます。 監督者としての日常業務を「仕事の改善・管理」と「部下との対応」を通じて、どのように遂行すべきか学んで頂きます。	「強い・すばらしいリーダーシップを發揮するために」監督者として何をすべきかを学んで頂きます。 自分のリーダーシップスタイルを分析し、自覚した中でリーダーシップのスキルをレベルアップします。	職場の組織風土を簡易診断し、改善する方法を学びます。 組織活性化の知識、行動科学、行動変革の基本を知り、職場環境改善・変革への施策実践のためのノウハウを学びます。 目標設定会合、チーム作り会合など職場環境改善のための「仕掛け」を学びます。	改善小集団、現場の作業グループの改善計画、実践、評価の仕方について基本を学びます。 職場活性化の仕掛け作り、自主的活動の仕掛け作り、等具体的な実践方法についてのノウハウを学んで頂きます。	「仕事の分担・割り当ての仕組み」「目標設定と計画化の仕組み」「情報伝達・意思決定・統制の仕組み」等活動の評価の仕方について学びます。 改善成果の評価方法、改善発表会の運営方法など実践的な知識を学んで頂きます。	改善小集団の編成、改善テーマの設定、改善計画の作成、改善の実践指導、改善活動の評価など実際の活動についてご指導致します。

研修の進め方

- 1 1 講義の概要と講師の説明
その日の講義の概要を講師がかいつまんで説明します。副資料として資料集を見て頂きますが、講義及びテキストの理解を深めて頂くために有効活用します。
- 2 2 演習
各章の内容について、チェックリストなどを用いながら、受講生自身あるいは会社の現状について、分析、検討して頂きます。
- 3 3 現状分析
職場の現状をチェックリスト及び調査資料を使い、現状分析して頂きます。管理・改善手法の一般知識を自分たちの職場に対応させることにより、より実践的な、現実的な管理・改善を行って頂きます。
- 4 4 討議と感想
演習の結果を基にして、メンバー全員による討議を行います。テキスト、資料集、会議の振り返りチェック、講師の話を参考にして、受講生自身や会社・職場の現状認識や方向性、具体的な解決策などをまとめて頂きます。
- 5 5 職場での実践と研修フォロー
毎回の研修会で、自分の職場で実践して頂く個人課題が出されます。これを自分の職場で実践して頂いた結果を次回の研修会で発表して頂きフォローします。座学と実践を繰り返すことにより、真の実務知識を身につけて頂きます。